

■宮本武蔵 剣術家、画家。不敗のまま実戦を離れて独自兵法を完成後、恩受けた城主の死に、「五輪書」を書上げて没した。
みやもとむさし
長久手の戦・1584＝ 美作の宮本村で、兵法家新免無二斎(養父とも)の子に生まれたという。

秀吉全国統一1590＝ 6歳：父を亡くしたという。

文禄の役・・1592＝ 8歳：育ての母の実家平福(今の兵庫県佐用郡)に移り、寺に預けられる。
方広寺大仏殿1593＝ 9歳：
_幼少のころから兵法を心がけ、

26聖人殉教・1596＝12歳：*初めての試合で新当流の兵法者有馬喜兵衛と戦って勝ち、修行の旅に出る。

前田利家没・1599＝15歳：_但馬で兵法者秋山を打ち倒し、名を上げる。
関ヶ原の戦・1600＝16歳：_関ヶ原の戦で西軍宇喜多秀家の部隊で働いたといわれ、その後、さらに諸国を修行して廻る。

東本願寺創建1602＝18歳：

糸割符法始・1604＝20歳：_京の剣法家吉岡一門に戦いを挑み、次々たおす。宝蔵院の槍とも対決。
徳川家康隠居1605＝21歳：_伊賀上野でくさがりがまの宍戸を倒した後、江戸に出る。

家康駿府退隠1607＝23歳：

この間、_剣道だけでなく、狩野派の画家海北友松について絵を学んだといわれ、宮本二天と号する。

山田長政渡航1611＝27歳：_この頃まで60余度の試合に一度も負けなかったといわれる。
キリスト教禁止・1612＝28歳：*最後の試合は、細川忠興が認めた巖流島での佐々木小次郎と公式試合で、木刀で倒し、その名を轟かす。
以後は、ひたすら剣理の追究、鍛練を重ね、
大坂冬の陣・1614＝30歳：大坂冬の陣に浪人隊を率い、
大坂夏の陣・1615＝31歳：絵の師海北友松が死去。夏の陣の後、再び旅立ち、
徳川家康没・1616＝32歳：

文倉常長帰国1620＝36歳：

徳川家光將軍1623＝39歳：
_この間、画作も続けて、師を超える絵を描くようになり、「枯木鳴鵲図」は、重要文化財になっている。

紫衣事件・・1629＝45歳：

徳川秀忠没・1632＝48歳：
鎖国令始・・1633＝49歳：_この頃、兵法の道を体得したという。
鎖国令Ⅱ・・1634＝50歳：養子の伊織と小倉に現れ、小笠原忠真のもとにとどまる。

島原の乱終・1638＝54歳：_島原の乱で、小笠原の軍に属し、伊織とともに戦うが、足に怪我をして、戦功を上げられなかったが、

寛永飢饉始・1640＝56歳：*熊本城主細川忠利に招かれて客分となり、生まれて初めて安定した生活となる。
家光鎖国完成1641＝57歳：_求めに応じて二天一流兵法を「兵法三十五箇条」にまとめ呈したが、忠利が急逝して、衝撃を受け、

寛永飢饉終・1643＝59歳：_余命の少ないことを悟って、岩戸山「靈巖洞」にこもり、
_死の直前にかけて、「五輪書」を書き上げたといわれる。
・ ・ ・ ・ ・ 1645＝61歳：同地で_没した。